

アクセスMAP

※登下校時は路線バスが学校の前まで運行します。
マップ上のバス運行ライン



電車バスをご利用の場合

大阪、天王寺方面から

南海高野線橋本駅でJR和歌山線に乗換え五条駅下車
JR大和路線王寺駅(または高田駅)でJR和歌山線に乗換え五条駅下車
奈良交通バス(新宮、十津川温泉、城戸方面)西吉野農業高校下車すぐ

橿原方面から

近鉄吉野線吉野駅でJR和歌山線に乗換え五条駅下車
奈良交通バス(新宮、十津川温泉、城戸方面)西吉野農業高校下車すぐ



それぞれの大きな夢の実現を目指し、一人一人に寄り添った教育を。



西吉野農業高等学校は、令和3年4月1日、奈良県立五條高等学校の分校から独立し、新たに五條市立の農業科の専門高校として開校しました。

本校の前身となる賀名生分校は、昭和25年、旧賀名生村が勤労青年に教育の機会均等を保障し、専門的な技能を習熟させ、郷土産業の振興に寄与させるため、農業科・家政科の昼間定時制高校として設立されました。その後70年間培われてきた建学の精神を引き継ぎながらも、本校は新たに「不撓不屈」の校訓のもと、「土に学び、土で育つ」をスローガンに掲げ、「高い志をもち、広く社会や地域に貢献する自立した人材の育成」を目指して参ります。

本校では、社会に出て即戦力になる人材を育てるため、また学校で学んだことを実生活に生かせるように「実学教育」を重視しています。地元農家や農業法人の皆様のご協力を得て、2、3年生では地元農家のほ場で質の高いプロの農業技術を直接学ぶ「総合実習」を、4年生では週2日間勤務の喜び、厳しさ、社会人としての責任を知る「就労体験活動」や、12日間にわたる北海道余市町の農家でホームステイをして実習する「北海道現場実習」を取り入れています。

また地域に根ざした学校として、世代間を超えた交流活動である「長寿ふれあい健康祭」に参加するなど、地域の行事への参加やボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

自然豊かな五條市。果樹を中心とした農業を学ぶ環境が整っています。全国から生徒を募集している小さな学校ですが、それ故一人一人に寄り添った教育を実現しています。生徒は農業学習を通じて、それぞれの大きな夢の実現に努めています。みなさんとともに西吉野農業高等学校で学んでみませんか。お待ちしております。

五條市立西吉野農業高等学校 校長 石澤 竜義
いしざわ たつ よし



お問合せ先

五條市立西吉野農業高等学校

〒637-0111 奈良県五條市西吉野町江出174番地の1

0747-32-0009 0747-32-0252 nishiyoshinonogyo@gojo-nar.ed.jp gojo-agri.jp

西吉野農業高校の入試情報の概要は、奈良県教育委員会のホームページで提供しますが、詳細については西吉野農業高校のホームページで提供します。

大きな夢の実現を叶える道。HONOR-MARKへの道。目指せ、HONOR-MARKへの道。

農業に「夢・志」のある生徒を全国から募集します。

西吉野農業高校

土に学び土で育つ

奈良県・五條市

五條市立西吉野農業高等学校

Gojo Municipal Nishiyoshino Agricultural High School



学校案内

柿生産日本一の五條市で プロフェーマーへの夢をはぐくみませんか

本校は、奈良県五條市西吉野町に位置する昼間定時制農業科の学校で、修業年限は4年です。
70年の伝統を持つ奈良県立五條高校質名生分校の取り組みを引き継ぎ、
2021年4月、五條市立の高等学校として新たなスタートをきりました。
地元農家で学ぶ実習や平日の就労体験活動を通して
「未来の農業担い手」を育てる実学教育を重視する学校です。



教育目標

高い志をもち、広く社会や地域の発展に貢献する
自立した人材を育成します。



教育方針

- 主体的に学び、変化する社会に対応できる確かな学力を培います。
- 他の人を思いやる豊かな心を育て、人権を尊重し、社会に貢献する精神を育みます。
- 健康、安全についての知識を深め、健康保持に努めるたくましい心身を養います。



教育課程

令和3年度入学生の教育課程です。

- 専門教科(農業)を重視し、特に実習を大切にします。
- 2・3年生では、実習の多くを地元農家や農業法人のプロから学びます。
- 4年生では、それまでの実習の成果に応じて就労体験活動を取り入れ、より質の高い技術習得を目指します。
- 4年間の実習と就労体験活動を通じて、地域の農業従事者と密接な関係を築きます。
- 卒業後は農業法人等への就職を目指し、その後の意欲と努力次第で独立できる仕組みを市農林部局や農業団体等と連携してつくります。

不撓不屈

概要

昼間定時制
(4年制)

農業科

1 学年定員

30人

令和3年度実績

私たちの夢は
輝いている



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1年	国語総合	世界史A	数学I	科学と人間生活	体育	保健	書道I	コミュニケーション英語基礎	家庭基礎	農業と環境	総合実習	西農マイタイム	五條TIME	ホームルーム											
2年	国語総合	日本史A	数学I	生物基礎	体育	保健	書道I	コミュニケーション英語I	食と生活	総合実習	農業情報処理	西農マイタイム	ホームルーム												
3年	国語表現	現代社会	数学活用	体育	コミュニケーション英語I	総合実習	野菜	果樹	草花	グリーンライフ	西農マイタイム	ホームルーム													
4年	国語表現	体育	課題研究	農業経営	農業機械	大和野菜学	柿学	ホームルーム	教育課程外の活動 近隣農場等での就労体験活動(2日/週、単位認定はしない)																

普通教科 専門教科 総合的な探究の時間(西農マイタイム 五條 TIME) 科目名に学を冠したものは、学校設定科目(地域の特色を踏まえて学校独自に設定している科目)です。4年生は2日、就労体験活動のため登録しないので履修単位数は10単位少なく設定しています。

各教科等履修単位数
25単位
25単位
25単位
15単位
計90単位



時間割

1年生					
	月	火	水	木	金
1限目					
2限目					
3限目	校内での授業・実習				
4限目					
5限目					

3年生					
	月	火	水	木	金
1限目					
2限目					
3限目	校内での授業・実習				
4限目				農家実習	
5限目					校内での授業・実習

2年生					
	月	火	水	木	金
1限目					
2限目					
3限目					農家実習
4限目					
5限目					

4年生					
	月	火	水	木	金
1限目	就労体験活動(教育課程外)	就労体験活動(教育課程外)			
2限目					
3限目					校内での授業・実習
4限目					
5限目					



農業科の特徴

就農につながるプログラムの実践

- 実習科目だけでなく、「野菜」「果樹」「草花」などの専門科目も実験実習を中心に学び、よりよい職業観をもった「農業担い手」を目指します。
- 「土に学び土で育つ」をコンセプトに農業担い手としての力を身に付け、併せて人間性も高めます。
- 農業実習や就労体験活動、「長寿ふれあい健康祭」や社会奉仕活動、地域の行事への積極的な参加などを通して地域と良好な関係を築き社会性を育みます。
- 農業クラブ活動にも前向きに取り組み、プロジェクト発表会や農業鑑定競技会などの近畿大会、全国大会出場を目指します。

学科の目標

地域の農業を支える 知識と技術をもった人づくり	地域の特産を生かし地域産業の 発展に寄与できる人づくり	地域の文化を理解し 社会に貢献できる人づくり
----------------------------	--------------------------------	---------------------------



- | | |
|-----|----------------------------|
| 4月 | ● 入学式 ● 球技大会 |
| 5月 | ● 世代交流活動「ふれあい健康祭」 |
| 6月 | ● 職場体験 |
| 7月 | ● 北海道現場実習 ● 郷土学習 ● 農業クラブ活動 |
| 8月 | ● 県農業クラブFFJ検定 |
| 9月 | ● 生活体験発表会 |
| 10月 | ● 体育大会 ● 修学旅行 ● 校外学習 |
| 11月 | ● 県産業教育フェア |
| 12月 | ● 収穫祭 ● 社会奉仕活動 |
| 1月 | ● 学習成果発表会 |
| 2月 | ● マラソン大会 |
| 3月 | ● 卒業式 ● 修了式 |

入学式	農業クラブ研究発表近畿大会
球技大会	生活体験発表全国大会



北海道 現場実習

4年生の希望者を対象に、毎年7月、北海道余市町の農家で12日間の現場実習を行っています。果樹農家に生徒1~2名でホームステイし、サクランボの収穫、りんごの摘果・袋がけ、ぶどうの整枝・摘房などの実習を行います。働くことの厳しさを肌で感じる現場実習。やり終えた時の充実感は何ものにも代えがたい喜びとなり、参加した生徒の成長には目を見張るものがあります。



五條で学ぶ農業

私たち地元農家が指導に協力します。



五條市立西吉野農業高等学校を支援する会
会長 谷口 幸雄

五條市立西吉野農業高等学校を支援する会は、地域農業及び関連産業の継承と発展振興等を担う未来の農業担い手を育成するため、西吉野農業高校が取り組んでいる実学を重視した教育を支援し、農業のプロとして豊かな知識と高い技術を伝えることや、就農及び定住に繋がるよう協力していくことを目的に活動しています。西吉野農業高校で学ぶ生徒の皆様には、大自然の中で農業に関連した幅広い技術を習得していただき、自分の将来を見据えた心技体を培っていただきたいと思ひます。四年間と限られた貴重な学生生活を、この五條市で充実したものとしていただくことを期待しております。

協力農家様ご紹介 ※順不同

将来の独立を目指し、充実した寄宿舎生活



寄宿舎

県外などの遠方から入学する生徒が安心して
高校生活を送れるよう寄宿舎には、寮父・寮母が常駐するとともに、
生活指導員が生活指導等を行います。



寄宿舎は第一桜花寮・第二桜花寮があり、入学当初は第一桜花寮に入寮し、原則として、3年生から第二桜花寮に入寮します。



授業料等

授業料 年額 18,000円

高等学校等就学支援金の受給を申請し、受給資格（保護者等の収入の合計が、道府県民税所得割額と市町村民税所得割額の合算で507,000円未満である人）が認定されれば、授業料相当額が国から支給されるので、授業料納付の必要はありません。

（参考URL）http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/

入学考査料 1,000円 入学料 2,000円

（※いずれも2021年5月現在）



生徒の声

私を成長させてくれた西吉野農業高等学校

中学3年の時、進路について迷っていた私は、進路担当の先生の進言で、本校の体験入学に参加することになりました。体験入学では、全国から農業を目指す生徒を募集することを知り、また、寄宿舎もあって、親元から離れて生活できるこの学校なら、私にピッタリだと感じました。入学式では、五條市長さんから激励の言葉をいただき、緊張と共に、これから始まる高校生活への期待が膨らみました。授業は、先生方がじっくり、丁寧に教えてくれました。農業の学習でも、初めて農業をする私にとって楽しく学ぶことができました。印象的だったのが、週に1度、地域の農家さんで実習できることでした。暑い日も寒い日も作業をしました。1年の時は辛かったのですが、2年、3年となるにつれ作業を任されるようになり、やりがいが出てきました。

西吉野農業高校の魅力の一つは、他では体験できないような行事があることです。その一つは、「長寿ふれあい健康祭」、地元の高齢者を学校に招き、幼稚園児も一緒になってのレクリエーションを行います。二つ目は「北海道現場実習」、4年の7月に北海道余市町でファームステイし、サクランボの収穫、リンゴの袋かけ、ブドウのせん定などの体験をさせていただきます。その他、球技大会、体育祭、生活体験発表会、収穫祭は全校生が一体となって楽しんでいます。また野球部、陸上部、卓球部、バレーボール部、テニス部、ボランティア部、囲碁部など、クラブ活動も一生懸命頑張っています。農業クラブも様々な分野で好成績をあげています。

今年、五條高校賀名生分校から西吉野農業高等学校に校名が変わり、校舎も移転しました。豊かな自然の中のきれいで立派な校舎です。このように西吉野農業高校では素晴らしい校舎と恵まれた環境で、少人数だから生徒と先生が家族のようにふれあいが学校生活が楽しめます。

私は、この夏休みには進路を決めなければなりません。残された高校生活を仲間や先生方とともに一日一日を大切に悔いのないよう送りたいです。

4年 生徒会長 山下 将



寄宿舎
使用料

全室
バス・トイレ付き
冷暖房完備
IHキッチン付き

学年に応じた二つの寄宿舎

第一桜花寮（原則1部屋2名で使用）

32室、親元から離れ、初めての生活を行うため1室を2名で使用します。全室バス・トイレ・ミニキッチン付きです。

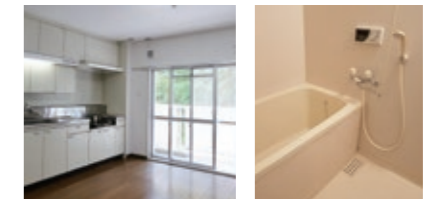
2人部屋使用 月額 7,000円

1人部屋使用 月額 12,000円

第二桜花寮（1戸3名で使用）

8戸、卒業後の生活を見据えた自立支援を目的に3DKの間取りでバス・トイレ・キッチンは共用です。1戸を3名で使用します。

1人 月額 12,000円



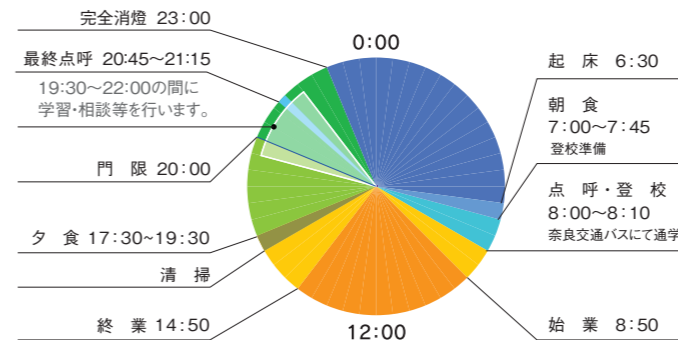
食事

食費（朝・夕） 朝・夕食は、業者による宅配でまかっています。今年度は、朝・夕食（1日分）990円となっていますが、価格については変動することがあります。

昼食について 授業日の昼食は、希望により学校給食が利用できます。（別途、給食費を徴収します。）ただし、休日や農家実習日等、給食がない日は各自で自炊等の対応をしていただきます。



寮生活の1日



家族での暮らし

桜花住宅 家族揃って入居できる住宅

将来、五條市に定住することを目的に子どもが西吉野農業高校に在籍する期間、家族揃って生活ができる住宅です。

3DKの間取りで6戸あり、使用料は月額30,000円です。ただし、別途光熱費等が必要となります。入居の条件として、市外に在住し、入居決定時に五條市に住民登録ができること、市内又は近隣市町村に就労中、又は就労を予定していること等があります。

詳しくは五條市教育委員会へお問い合わせください。
五條市教育委員会 教育総務課 総務係 0747-22-4001(代表)



野球部

幼稚園との交流

ランチルーム

未来に向かってジャンプ!